

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 4 月 1 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203310		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム三滝ひまわり		
所在地	広島市西区三滝本町2丁目25-10 (電話) (082) 230-0888		
自己評価作成日	平成22年3月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=3470203310&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目9-26
訪問調査日	平成22年9月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当施設では地域に開かれた施設を目指して、町内会で行われる行事や公民館でのサークル活動への参加を積極的におこなっている。又、地域とのなじみの関係を築くため、グループホーム内での行事には、ご家族様だけでなく、ご近所の方にも声をかけて参加頂いている。介護職員には、毎月2回、老人保健施設と合同の勉強会とグループホーム独自の勉強会を行っている。日々の関わりでは、認知症が進行しても出来る事、分かる事を見つけて支援していくよう指導している。自分が高齢期になった時、入っても良いと思えるグループホームを目標に入居者様の立場で物事を考えるよう徹底している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

1. 全職員は、理念を育て、理念と共に自分が成長することを目標としている。この取り組みなどにより、利用者と家族から事業所及び全職員への安心と信頼が培われていることが伺えた。
2. 関連の医療機関や、介護事業所と連携し、地域密着型サービス事業所の社会的役割を認識した上で、行政・地域・家族等と協働しながら、実践につなげる取り組みが行われている。
3. 全職員の意見や情報をしっかりと取り入れ、話し合いながら運営に反映させており、職員の働く意欲の向上や質の確保につなげている。

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念があり、近づく為に事業所で目標を持って取り組んでいる。	事業母体（医療法人みやうち）の基本理念を踏まえ、全職員で話し合っ利用者立場・目線を大切にしたホーム独自の理念を作り、全職員がこの理念を共有し、利用者へのケアの意見統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩中に挨拶を心がけ、地域のイベントに参加したり、地域住民との交流を計画して事業所のアピールを行なっている。	開所以来、地域との関係作りを地道に取り組まれたことにより、町内会長の積極的な支援と理解を得ており、事業所は地域の一員として、毎月の町内会の合唱会や合同消防訓練及び町内清掃にも利用者・職員がともに参加し、交流や連携を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し、地域との協力体制を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では評価の報告をおこない、サービスの要望に対して真剣に取り組んでいる。	運営推進会議で取り上げられた検討事項や懸案事項は、全職員が経過を報告し合い、一つひとつを積み上げていくようにしている。運営推進会議は地域の理解と支援を得るための貴重な機会となっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市の介護保険事業者指導係と区役所の介護保険担当者に報告している。	利用者の要介護認定の変更及び更新時の手続きや、運営推進会議等のあらゆる機会をとられて、事業所の実情やケアサービスの取組みを伝えており、連携が図られている。	

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は行なっていない。拘束に関する勉強会を年に2回行っている。</p>	<p>高齢者の権利保護や身体拘束に関して、全職員が共通認識を持ち、職員の見守りの方法を徹底し、利用者の自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルを作成し、勉強会を年に2回行い、職員に周知している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員の勉強会を行い、機会があれば外部研修にも参加している。又、個別にも必要に応じて制度の説明をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>生活のしおりや内部見学をして頂き、生活の様子を見て頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会を開催し、意見、要望を伺い、サービス向上委員会では対応策を検討し、実行している。</p>	<p>運営推進会議や家族会及び家族の来訪時等に、事業所から積極的に意見や要望等を常に問いかけている。得られた意見や苦情について検討が行われ、速やかな対応がなされている。</p>	

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>人事考課を導入し個別で意見を聞いたり、スタッフ会議で意見があれば聞く様になっている。</p>	<p>月に1回の全体会議や、ユニット会議を週に1回開催して、職員の意見をしっかりと取り入れ、一緒に話し合いながら調整している。。また、常日頃から全職員のコミュニケーションも良好であり、職員とともに作る運営体制が何えた。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課を導入し、管理者と職員で具体的に話し合い、取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内で月に1度研修会を行い、GH内でも月に1度、勉強会をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>法人内のGHと協力し、毎月交換実習を行い、他の事業所の状態や取り組みを聞き、意見交換している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>初回の面接時見学時に話を聞き、必要な情報は記録し、全職員が把握できるよう、回覧している。</p>		

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>いつでも電話等、連絡がとれるようにしている。面会時には、近況をお伝えし、ご家族の意見、要望を頂いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>介護保険制度の概要やサービスについて必要ならば、情報提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>その人らしい生活を支えながら、一緒に過ごす時間を大切にしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の近況を面会時、電話等でお伝えし、情報を共有しながら支えあっている。本人の誕生日会などご家族様にも声をかけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの人、場所を本人、ご家族様から情報提供頂き、電話、面会、外出等で馴染みの関係を継続している。</p>	<p>利用者一人ひとりが、地域に暮らす馴染みの知人・友人等との関係が継続できるように、本人の関係をよく把握し、つながりを継続できるよう支援をしている。</p>	

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者様同士の関係が構築できるよう、職員と一緒に交流できる場を設けている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居された後も、顔なじみになられた入居者様と、ご自宅などに面会に行っている。</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いやりや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>コミュニケーションからニーズを引き出し、ケアプランを作成している。</p>	<p>日々の関わりの中で、利用者の要望・意向を把握し、言葉や表情から把握に努めながら、利用者一人ひとりが楽しく暮らせるように支援がなされている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>ご家族様や全担当者より情報を頂いている。又、知人の面会時に、昔の様子を聞いて、記録に残している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>出来る限り情報収集を行い、口頭の伝達だけでなく、ノートを使って、共有している。</p>		

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人のニーズとご家族様のニーズをお聞きし、ケアプランに盛り込んでいる。ご家族様にも出来る限りプランに協力頂けるようお願いしている。</p>	<p>利用者の希望、家族の意見をもとにし、定期的に開催されるミーティングを通じて意見交換をしながら、必要な支援を盛り込んだ介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の行動記録や連絡ノートを活用し情報交換を行っている。必要に応じて個別に状態を記録し、データ収集を行なっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>グループホームでのイベントにはご家族様も参加して頂けるよう工夫している。また、誕生日の外食にはご家族様にも声をかけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>入居者様が楽しんで参加できるイベントがないか地域包括支援センター、町内会長様に情報を頂いている。又、広島市内のデパートなどのイベントも確認している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に一度受診している。体調の変化や薬の変更があった場合はその都度報告し、必要であれば主治医よりご家族様に直接説明してもらっている。</p>	<p>本人やご家族が希望するかかりつけ医となっており、情報の共有もきめ細かく図られている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて柔軟に対応している。</p>	

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	主治医のいるクリニックから看護師の往診が週2回あり。また同法人の老健、看護師にも緊急時相談できる体制を取っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	相談できる医療機関を幾つか持っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	主治医、ご家族様と共に、重度化した場合の対応について話し合いを行なっている。入居時や家族会、運営推進会議などで重度化した場合の説明を行い、ご家族様で終末期について話し合いを行ってもらうよう説明している。	母体の医療機関や関連の事業所と連携し、重度化や終末期に向けた対応への体制や方針の共有も出来ている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	普通救命講習に参加している。又、早めに医療機関に受診し、指示をもらっている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	2ヶ月に1回の避難訓練を行い、職員、入居者様の意識を高めるようにしている。又、近隣の同法人施設より応援体制を作っている。	定期的に避難訓練を実施しており、非常時は、近隣の関連事業所との応援体制も確立されている。今後は、地域や近隣の方々の協力体制を今以上に得られるよう努められることが期待される。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内の個人情報保護委員会の指導の基に慎重に扱うよう徹底し、声かけにも配慮している。	事業所の全ての職員が、一人ひとりの権利を保障し、人格を尊重することが、対人援助の基本としている。日常的な確認と改善に向けた事業所全体での取り組みも、きめ細かく行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	残された力を使って生活して頂けるように配慮し、選択権をもってもらうよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決まったプログラムは使用せずに、個々のペースに合わせた生活を考えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望があれば対応し、外出時やイベントの時はこちらから声をかけるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様が好まれそうなメニューを取り入れ、食事に関心を持ってもらえるよう声かけを行なっている。ホットプレートなど使用し、身体状況に関係なく参加頂けるよう配慮している。	利用者の好みを考慮し、全職員が当番制で献立を考え、食事の準備・食事・後片付け等利用者の意思を尊重しながら、職員と利用者共に楽しい食事となるよう工夫されている。	

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	水分はお茶の時間や入浴後、外出後に提供している。希望者様には随時対応し、夜間も水筒にお茶を準備してお渡ししている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後声かけし、義歯洗浄してもらっている。又、介助にて口腔ケアを行なっている。必要であれば、協力歯科医にて口腔ケアの指導治療をお願いしている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	カンファレンスにて話し合いを行い、個々の排泄のタイミングを把握し、必要時のみ紙パンツなど使用するようになっている。	自尊心に配慮し、利用者の様子を敏感にキャッチし、トイレでの排泄を大切にしながら、一人ひとりの身体機能に柔軟に対応しながら排泄の支援がなされている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	適度に運動して頂けるよう心掛けている。薬の使用だけでなく、料理に繊維物を取り入れたり、飲み物にも工夫している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	入浴は毎日行っており、日勤帯であれば、入居者様の希望を聞いている。	毎日利用者の健康チェックを行い、利用者一人ひとりの希望に沿った入浴支援が行われており、冷泉ながらも温泉が引かれ利用者にも人気があり、入浴を楽しんでおられる。	

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	ホーム内では出来る限り自由に生活を送って頂けるよう、情報収集を行なっている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	入居者様別に内服薬のレジメを用意し、職員に周知徹底をしている。変更や追加はその都度、申し送りを行ない、連絡ノートにも記載するようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	希望される場所への外出を計画している。なじみの場所に行く、得意な作品作りを行なうなど楽しみのある生活を送って頂けるよう配慮している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日用品、食材の買い出し、医療機関への受診、外食など支援している。ご家族様にも協力頂き、外出、外泊をお願いしている。	落ち着いた高級住宅街の一角に当ホームがあり、安全にのんびりと散歩が可能で、近隣の人たちと挨拶を交わしながら、交流を深めている。また、買い物などにも日常的に出かけられている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご家族様と話し合いの上決めている。買い物に行った時はなるべく支払いを本人にして頂くようにしている。		

B

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	季節の挨拶状や手紙、電話、FAXを備えている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	写真や季節にあった作品を飾り、家庭的な雰囲気を出すようにしている。リビングは南向きで明るく、ソファを置き、くつろげるようにしている。	高い天井から差し込む日差しを受け、広々・ゆったりとした清潔感あふれる雰囲気にも囲まれている。リビングは南向きで広々とした景色や、隣接する裏山の木々からは季節の訪れが感じられ、落ち着いてくつろげるスペースとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個々で気に入った場所で過ごして頂けるよう、又プライバシーにも配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	気に入っている物やなじみの物を持ち込んでもらい、部屋担当が、不定期ではあるが、見直しを行っている。	利用者が入居以前に使用されていた馴染みの品々が持ち込まれ、家族の写真等も飾られて、温かい雰囲気のもと、居心地の良さに配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	入居者様を一人の人として、出来る事を認め、出来ない事は一緒におこなうよう職員に徹底している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を基にケア目標をつくり、常に意識し、取り組めるように毎朝朝礼にて唱和している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎月、町内会で行われている、合唱会に参加している。クリスマス会などGHで行事がある時は声をかけている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域住民との交流会、運営推進会議の参加を呼びかけ、実際に関わって頂きながら理解を求めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で出た意見、要望等は見直しを行い、検討している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の介護保険事業者担当係と区役所の介護保険担当に報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は行なっていない。拘束に関する勉強会を年に2回行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルを作成し、勉強会を年に2回行い、職員に周知している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員の勉強会を行い、機会があれば外部研修にも参加している。又、個別にも必要に応じて制度の説明をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>生活のしおりや内部見学をして頂き、生活の様子を見て頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会を開催し、意見、要望を伺い、サービス向上委員会で対応策を検討し、実行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	人事考課を導入し個別で意見を聞いたり、スタッフ会議で意見があれば聞く様になっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課を導入し、管理者と職員で具体的に話し合い、取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内で月に1度研修会を行い、GH内でも月に1度、勉強会をおこなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のGHと協力し、毎月交換実習を行い、他の事業所の状態や取り組みを聞き、意見交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回の面接時見学時に話を聞き、必要な情報は記録し、全職員が把握できるよう、回覧している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	いつでも電話等、連絡がとれるようにしている。面会時には、近況をお伝えし、ご家族の意見、要望を頂いている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	介護保険制度の概要やサービスについて必要ならば、情報提供している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	その人らしい生活を支えながら、一緒に過ごす時間を大切にしている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	本人の近況を面会時、電話等でお伝えし、情報を共有しながら支えあっている。本人の誕生日会などご家族様にも声をかけている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	馴染みの人、場所を本人、ご家族様から情報提供頂き、電話、面会、外出等で馴染みの関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様同士の関係が構築できるよう、職員と一緒に交流できる場を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された後も、入居者様と本人に面会に行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションからニーズを引き出し、ケアプランを作成している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様や全担当者より情報を頂いている。又、知人の面会時に、昔の様子を聞いて、記録に残している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	出来る限り情報収集を行い、口頭の伝達だけでなく、ノートを使って、共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人のニーズとご家族様のニーズをお聞きし、ケアプランに盛り込んでいる。ご家族様にも出来る限りプランに協力頂けるようお願いしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の行動記録や連絡の一とを活用し情報交換を行っている。必要に応じて個別に状態を記録し、データ収集を行なっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>グループホームでのイベントにはご家族様も参加して頂けるよう工夫している。また、誕生日の夕食にはご家族様にも声をかけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>入居者様が楽しんで参加できるイベントがないか地域包括支援センター、町内会長様に情報を頂いている。又、広島市内のデパートなどのイベントも確認している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に一度受診している。体調の変化や薬の変更があった場合はその都度報告し、必要であれば主治医よりご家族様に直接説明してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	主治医のいるクリニックから看護師の往診が週2回あり。また同法人の老健、看護師にも緊急時相談できる体制を取っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	相談できる医療機関を幾つか持っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	主治医、ご家族様と共に、重度化した場合の対応について話し合いを行なっている。入居時や家族会、運営推進会議などで重度化した場合の説明を行い、ご家族様で終末期について話し合いを行ってもらおうよう説明している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	普通救命講習に参加している。又、早めに医療機関に受診し、指示をもらっている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	2ヶ月に1回の避難訓練を行い、職員、入居者様の意識を高めるようにしている。又、近隣の同法人施設より応援体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内の個人情報保護委員会の指導の基に慎重に扱うよう徹底し、声かけにも配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	残された力を使って生活して頂けるように配慮し、選択権をもってもらよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決まったプログラムは使用せずに、個々のペースに合わせた生活を考えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望があれば対応し、外出時やイベントの時はこちらから声をかけるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様が好まれそうなメニューを取り入れ、食事に感心を持ってもらえるよう声かけを行なっている。ホットプレートなど使用し、身体状況に関係なく参加頂けるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	水分はお茶の時間や入浴後、外出後に提供している。希望者様には随時対応し、夜間も水筒にお茶を準備してお渡ししている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後声かけし、義歯洗浄してもらっている。又、介助にて口腔ケアを行なっている。必要であれば、協力歯科医にて口腔ケアの指導治療をお願いしている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	カンファレンスにて話し合いを行い、個々の排泄のタイミングを把握し、必要時のみ紙パンツなど使用するようになっている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	適度に運動して頂けるよう心掛けている。薬の使用だけでなく、料理に繊維物を取り入れたり、飲み物にも工夫している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	入浴は毎日行っており、日勤帯であれば、入居者様の希望を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	ホーム内では出来る限り自由に生活を送って頂けるよう、情報収集を行なっている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	入居者様別に内服薬のレジメを用意し、職員に周知徹底をしている。変更や追加はその都度、申し送りを行ない、連絡ノートにも記載するようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	希望される場所への外出を計画している。なじみの場所に行く、得意な作品作りを行なうなど楽しみのある生活を送って頂けるよう配慮している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日用品、食材の買い出し、医療機関への受診、外食など支援している。ご家族様にも協力頂き、外出、外泊をお願いしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご家族様と話し合いの上決めている。買い物に行った時はなるべく支払いを本人にして頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>季節の挨拶状や手紙、電話、FAXを備えている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>写真や季節にあった作品を飾り、家庭的な雰囲気を出すようにしている。リビングは南向きで明るく、ソファを置き、くつろげるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個々で気に入った場所で過ごして頂けるよう、又プライバシーにも配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>気に入っている物やなじみの物を持ち込んでもらい、部屋担当が、不定期ではあるが、見直しを行っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者様を一人の人として、出来る事を認め、出来ない事は一緒におこなうよう職員に徹底している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム三滝ひまわり

作成日 平成22 年10 月21 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ご家族様と本人様のニーズが違う	GHの生活を理解してもらう機会を増やす	ケアプランを家族さんにももっと参加していただける工夫をする	半年～1年
2	3	ご家族様の参加が少ない 地域住民との交流の機会が少ない	参加しやすい工夫をする	開催時に認知症の勉強会実施 公民館行事に工夫しながら参加（合唱会に参加して協力出来ることに取り組み）	1年～2年
3	13	職員一人ひとりの力量に差がある	一人ひとりが責任ある仕事をする	カンファレンス・勉強会の参加出来るよう工夫をする	1年～2年
4	26	介護者の都合で声かけせずやってしまうことがある	ケアプランに添った利用者本位になるような工夫をする	一人ひとりのケア内容を把握に努める きっかけ・タイミングを外さないよう心掛ける	1年
5	47	変更や追加が多い時周知徹底していない	仕事（薬に対して）勉強する	薬の勉強会実施 マニュアルの見直し	半年
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。